



Fukuoka REIT

Appendix

福岡・九州地域特化型リート

■ スポンサー体制



(注1) 福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティとパイプライン・サポートに関する契約書を締結しています。
 (注2) 福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティと保有不動産資産の物件情報提供に関する覚書を締結しています。

■ 投資方針

◎ 投資対象エリア



◎ 投資タイプ



ポートフォリオ一覧

2011年2月28日現在

物件名称	築年数 (注1)	取得価格 (百万円) (注2)	投資比率	取得日	取得元 (注3)	期末時点 賃貸 可能面積 (㎡)	期末時点 稼働率	期末時点 テナント数	期末時点主要テナント	
商業施設	キャナルシティ博多	14年10ヶ月	32,000	26.5%	2004/11/9	スポンサー	45,990.34	97.8%	38	ワシントンホテル・ ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13
	パークプレイス大分	8年11ヶ月	15,700	13.0%	2004/11/9	スポンサー	103,963.52	99.3%	96	イオン・ケーズデンキ
	サンリブシティ小倉	5年11ヶ月	6,633	5.5%	2005/7/1	外部	61,450.22	100.0%	1	サンリブ
	スクエアモール鹿児島宇宿	4年5ヶ月	5,300	4.4%	2006/9/28	スポンサー	14,661.72	100.0%	11	スポーツデポ/ゴルフ5・ベスト電器
	熊本インターコミュニティSC	4年3ヶ月	2,400	2.0%	2006/11/30	スポンサー	6,968.66	100.0%	2	スポーツデポ/ゴルフ5・ スターバックスコーヒー
	イオン原ショッピングセンター	34年4ヶ月	5,410	4.5%	2007/3/1	スポンサー	27,580.75	100.0%	1	イオン
	花畑SC	3年7ヶ月	1,130	0.9%	2007/9/3	スポンサー	2,801.15	100.0%	2	ボンラパス・マツモトキヨシ
	久留米東櫛原SC	3年2ヶ月	2,500	2.1%	2008/2/1	スポンサー	6,467.80	100.0%	1	スポーツデポ/ゴルフ5
	ケーズデンキ鹿児島本店	3年3ヶ月	3,550	2.9%	2008/3/27	外部	7,296.17	100.0%	1	ケーズデンキ
	商業施設合計	—	74,623	61.7%	—	—	277,180.33	99.4%	153	—
オフィス	キャナルシティ・ビジネスセンタービル	14年10ヶ月	14,600	12.1%	2004/11/9	スポンサー	23,051.93	94.6%	55	TOTO・ベルシステム24
	呉服町ビジネスセンター	7年4ヶ月	11,200	9.3%	2004/11/9	スポンサー	19,907.91	94.6%	20	プロミス・NTT西日本・九州
	サニックス博多ビル	9年10ヶ月	4,400	3.6%	2005/9/30	外部	6,293.76	100.0%	14	サニックス・出光興産
	大博通りビジネスセンター	8年11ヶ月	7,000	5.8%	2006/3/16	スポンサー	14,653.95	96.1%	61	NTTコムウェア・ 東京海上日動事務アウトソーシング
	東比恵ビジネスセンター	2年0ヶ月	5,900	4.9%	2009/3/13	外部+スポンサー	13,695.51	100.0%	15	富士通・フォレストホールディングス
オフィスビル合計	—	43,100	35.7%	—	—	77,603.06	96.3%	165	—	
その他	アメックス赤坂門タワー	5年7ヶ月	2,060	1.7%	2006/9/1	外部	4,755.14	94.2%	62	—
	シティハウスけやき通り	3年3ヶ月	1,111	0.9%	2007/12/20	外部	2,710.86	97.2%	41	—
	その他合計	—	3,171	2.6%	—	—	7,466.00	95.3%	103	—
全物件 合計又は加重平均 (注4)	11年0ヶ月	120,894	100.0%	—	—	362,249.39	98.6%	421	—	

銘柄名	取得価格 (百万円)	取得時期
有限会社シーシーエイチブリッジを営業者とする 優先匿名組合出資持分	6,400	2006/02/27 2010/03/11

取得価格 合計	127,294百万円
----------------	-------------------

(注1)「築年数」は、期末時点を起算日として記載しています。
(注2)「取得価格」は、いずれも諸経費(手数料、公租公課等)を含まない金額で記載しています。
(注3)スポンサーによるアレンジにて取得できた物件をスポンサーとして記載しています。
(注4)上記各物件の築年数合計を取得価格で除した数値を「築年数」に、上記各物件の期末時点での賃貸面積合計を期末時点賃貸可能面積合計で除した数値を「稼働率」に記載しています。

ポートフォリオのご紹介(1/8)

- | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|----------------------------------|--|
| ① キャナルシティ博多
[アーバンSC(アクティブ商業)] | ② キャナルシティ博多・B(注1)
[アーバンSC(アクティブ商業)] | ③ キャナルシティ・ビジネスセンタービル
[Aクラスビル(オフィス)] | ④ 呉服町ビジネスセンター
[Aクラスビル(オフィス)] | ⑤ 大博通りビジネスセンター
[Aクラスビル(オフィス)] |
| ⑥ サニックス博多ビル
[Aクラスビル(オフィス)] | ⑦ 東比恵ビジネスセンター
[Aクラスビル(オフィス)] | ⑧ アメックス赤坂門タワー
[住居(その他)] | ⑨ シティハウスけやき通り
[住居(その他)] | ⑩ イオン原ショッピングセンター
[リージョナルSC(パッシブ商業)] |
| ⑪ 花畑SC
[コミュニティSC(パッシブ商業)] | ⑫ パークプレイス大分
[リージョナルSC(アクティブ商業)] | ⑬ サンリブシティ小倉
[リージョナルSC(アクティブ商業)] | ⑭ 久留米東櫛原SC
[コミュニティSC(パッシブ商業)] | ⑮ 熊本インターコミュニティSC
[コミュニティSC(パッシブ商業)] |
| ⑯ スクエアモール鹿児島宇宿
[コミュニティSC(パッシブ商業)] | ⑰ ケーズデンキ鹿児島本店
[コミュニティSC(パッシブ商業)] | | | |

(注1) 2011年3月2日付で取得しています。

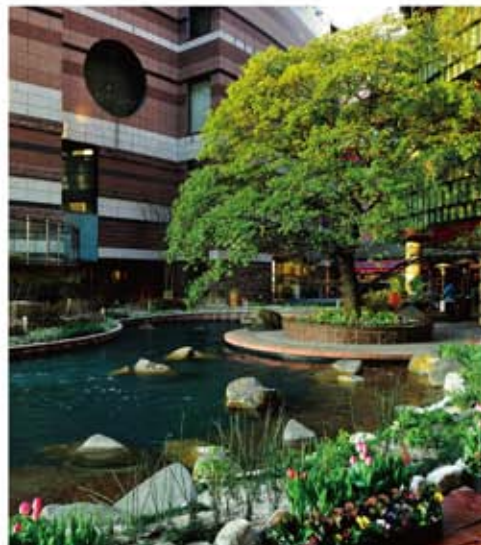


ポートフォリオのご紹介(2/8)

アクティブ商業

① キャナルシティ博多

- 所在地： 福岡市博多区住吉1丁目
- 賃貸可能面積： 45,990.34㎡
- 建築時期： 1996年4月15日
- PM会社： 福岡地所株式会社



ポートフォリオのご紹介(3/8)

アクティブ商業

② キャナルシティ博多・B

- 所在地： 福岡市博多区住吉1丁目
- 賃貸可能面積： 63,988.89㎡ (注1)
- 建築時期： 1996年4月15日
- PM会社： 福岡地所株式会社

(注1)2010年11月30日現在の賃貸可能面積を記載しています。



ポートフォリオのご紹介(4/8)

アクティブ商業

⑫パークプレイス大分

- 所在地： 大分市公園通り西2丁目
- 賃貸可能面積： 103,963.52㎡
- 建築時期： 2002年3月26日・4月17日、
2004年4月28日、2007年4月9日、
2008年3月31日
- PM会社： パークプレイス大分株式会社



ポートフォリオのご紹介(5/8)

アクティブ商業

⑬ サンリブシティ小倉

- 所在地： 北九州市小倉南区上葛原2丁目
- 賃貸可能面積： 61,450.22㎡
- 建築時期： 2005年3月17日
- PM会社： 福岡地所株式会社



ポートフォリオのご紹介(6/8)

ハッシュ商業

⑩スクエアモール鹿児島宇宿

- 所在地：鹿児島市宇宿2丁目
- 賃貸可能面積：14,661.72㎡
- 建築時期：2006年9月19日
- PM会社：福岡地所株式会社



ハッシュ商業

⑪熊本インターコミュニティSC

- 所在地：熊本市神園1丁目
- 賃貸可能面積：6,968.66㎡
- 建築時期：2006年11月15日
- PM会社：福岡地所株式会社



ハッシュ商業

⑫イオン原ショッピングセンター

- 所在地：福岡市早良区原6丁目
- 賃貸可能面積：27,580.75㎡
- 建築時期：1976年10月26日(2007年リニューアル)
- PM会社：福岡地所株式会社



ハッシュ商業

⑬花畑SC

- 所在地：福岡市南区花畑4丁目
- 賃貸可能面積：2,801.15㎡
- 建築時期：2007年7月10日
- PM会社：福岡地所株式会社



ポートフォリオのご紹介(7/8)

ハッシュブ商業

⑭久留米東櫛原SC

- 所在地： 久留米市東櫛原町
- 賃貸可能面積： 6,467.80㎡
- 建築時期： 2007年12月3日
- PM会社： 福岡地所株式会社



ハッシュブ商業

⑰ケースデンキ鹿児島本店

- 所在地： 鹿児島市東開町
- 賃貸可能面積： 7,296.17㎡
- 建築時期： 2007年11月17日
- PM会社： 福岡地所株式会社



オフィス

③キャナルシティ・ビジネスセンタービル

- 所在地： 福岡市博多区住吉1丁目
- 賃貸可能面積： 23,051.93㎡
- 建築時期： 1996年4月15日
- PM会社： 福岡地所株式会社



オフィス

④呉服町ビジネスセンター

- 所在地： 福岡市博多区上呉服町
- 賃貸可能面積： 19,907.91㎡
- 建築時期： 2003年10月16日
- PM会社： 福岡地所株式会社



ポートフォリオのご紹介(8/8)

オフィス

⑥ サニックス博多ビル

- 所在地： 福岡市博多区博多駅東2丁目
- 賃貸可能面積： 6,293.76㎡
- 建築時期： 2001年3月31日
- PM会社： 福岡地所株式会社



オフィス

⑤ 大博通りビジネスセンター

- 所在地： 福岡市博多区御供所町
- 賃貸可能面積： オフィス棟:11,226.57㎡
住宅棟:3,427.38㎡
- 建築時期： 2002年3月7日
- PM会社： 福岡地所株式会社



オフィス

⑦ 東比恵ビジネスセンター

- 所在地： 福岡市博多区東比恵3丁目
- 賃貸可能面積： 13,695.51㎡
- 建築時期： 2009年2月6日
- PM会社： 福岡地所株式会社



その他

⑧ アメックス赤坂門タワー

- 所在地： 福岡市中央区舞鶴2丁目
- 賃貸可能面積： 4,755.14㎡
- 建築時期： 2005年7月26日
- PM会社： 株式会社ディー・エム・シー
(天神エリア住宅運営大手 大央グループ)



その他

⑨ シティハウスけやき通り

- 所在地： 福岡市中央区警固2丁目
- 賃貸可能面積： 2,710.86㎡
- 建築時期： 2007年11月17日
- PM会社： 株式会社ディー・エム・シー
(天神エリア住宅運営大手 大央グループ)



賃貸事業収支(アクティブ商業・パッシブ商業)

(単位:百万円(未満切捨))

アクティブ商業

科目	キャナルシティ博多	パークプレイス大分	サンリブシティ小倉	第13期合計(A)
	第13期(2010年9月1日~2011年2月28日)			
(運用期間)	181日	181日	181日	181日
①不動産賃貸事業収益合計	1,332	963	292	2,588
不動産賃貸収益	1,305	945	292	2,543
その他 不動産賃貸収益	27	18	-	45
②不動産賃貸事業費用合計	525	489	49	1,064
外注委託費	339	280	8	629
修繕費	75	48	0	124
原状回復費	-	-	-	-
公租公課	74	85	36	197
損害保険料	7	6	2	16
水道光熱費	23	31	-	55
その他 不動産賃貸費用	3	37	0	41
③NOI(=①-②)	807	473	243	1,523
④減価償却費	193	169	45	409
⑤賃貸事業利益(=③-④)	613	304	197	1,114
⑥NOI利回り(対取得価格)	5.0%	6.0%	7.3%	5.6%
⑦資本的支出	399	209	-	609

前期合計(B)	差異(A-B)
184日	▲3日
2,596	▲8
2,554	▲11
41	3
941	122
613	15
24	100
-	-
197	▲0
16	▲0
56	▲0
34	7
1,654	▲130
404	4
1,250	▲135
6.1%	▲0.5%
86	523

予算(C)	差異(A-C)
2,566	21
1,060	3
1,505	18

パッシブ商業

科目	スクエアモール 鹿児島宇宿	熊本インター コミュニティSC	イオン原 ショッピングセンター	花畑SC	久留米東櫛原 SC	ケーズデンキ 鹿児島本店	第13期合計(A)
	第13期(2010年9月1日~2011年2月28日)						
(運用期間)	181日	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①不動産賃貸事業収益合計	253	90	212	40	88	111	795
不動産賃貸収益	226	89	212	40	88	111	769
その他 不動産賃貸収益	26	0	0	-	-	-	26
②不動産賃貸事業費用合計	94	11	22	5	9	11	156
外注委託費	40	2	6	1	2	1	55
修繕費	5	0	0	-	0	-	6
原状回復費	-	-	-	-	-	-	-
公租公課	18	6	13	3	5	8	56
損害保険料	1	0	0	0	0	0	4
水道光熱費	25	-	-	-	-	-	25
その他 不動産賃貸費用	2	1	0	0	0	0	7
③NOI(=①-②)	158	78	189	35	78	99	639
④減価償却費	48	18	22	7	22	30	148
⑤賃貸事業利益(=③-④)	110	60	167	27	55	69	490
⑥NOI利回り(対取得価格)	6.0%	6.5%	7.0%	6.2%	6.2%	5.6%	6.3%
⑦資本的支出	1	-	1	-	-	-	2

前期合計(B)	差異(A-B)
184日	▲3日
798	▲2
770	▲0
28	▲1
162	▲6
58	▲3
7	▲0
-	-
56	▲0
4	▲0
27	▲1
9	▲1
635	4
149	▲1
485	5
6.3%	0.0%
9	▲6

予算(C)	差異(A-C)
797	▲1
162	▲6
634	5

賃貸事業収支(オフィス、その他、全体)

(単位:百万円(未満切捨))

科目	ビジネスセンタービル	呉服町 ビジネスセンター	サニックス 博多ビル	大博通り ビジネスセンター	東比恵 ビジネスセンター	第13期合計 (A)	前期合計 (B)	差異 (A-B)	予算 (C)	差異 (A-C)
	第13期(2010年9月1日~2011年2月28日)									
	(運用期間)	181日	181日	181日	181日	181日	184日	▲3日		
①不動産賃貸事業収益合計	609	516	202	298	339	1,966	1,961	4	1,959	6
不動産賃貸収益	607	466	188	297	313	1,872	1,860	12		
その他 不動産賃貸収益	2	50	14	0	26	93	101	▲7		
②不動産賃貸事業費用合計	211	163	60	103	131	670	687	▲17	671	▲1
外注委託費	140	71	19	56	41	329	336	▲7		
修繕費	10	1	5	15	0	33	28	4		
原状回復費	-	-	-	-	-	-	-	-		
公租公課	47	38	17	27	19	149	149	▲0		
損害保険料	5	3	1	1	2	13	13	▲0		
水道光熱費	6	47	15	-	27	97	105	▲8		
その他 不動産賃貸費用	2	1	1	2	39	47	53	▲6		
③NOI(=①-②)	397	353	142	194	208	1,296	1,273	22	1,288	7
④減価償却費	88	95	36	66	78	365	363	1		
⑤賃貸事業利益(=③-④)	309	257	105	128	129	930	909	21		
⑥NOI利回り(対取得価格)	5.4%	6.3%	6.5%	5.5%	7.1%	6.0%	5.9%	0.1%		
⑦資本的支出	51	7	3	9	-	72	57	15		

オフィス

その他

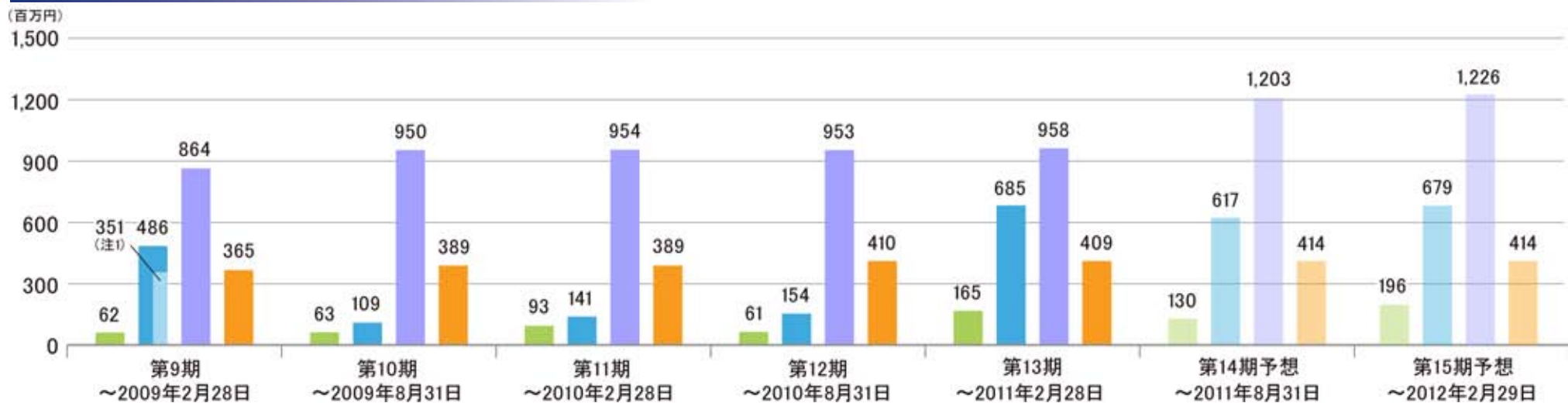
科目	アメックス 赤坂門タワー	シティハウス けやき通り	第13期合計 (A)	前期合計 (B)	差異 (A-B)	予算 (C)	差異 (A-C)
	第13期(2010年9月1日~2011年2月28日)						
	(運用期間)	181日	181日	184日	▲3日		
①不動産賃貸事業収益合計	66	37	103	98	4	102	0
不動産賃貸収益	59	37	96	97	▲0		
その他 不動産賃貸収益	6	0	6	1	4		
②不動産賃貸事業費用合計	18	7	25	25	▲0	26	▲1
外注委託費	5	2	7	8	▲1		
修繕費	0	0	0	1	▲0		
原状回復費	2	-	2	3	▲1		
公租公課	3	2	5	5	▲0		
損害保険料	0	0	0	0	▲0		
水道光熱費	1	0	1	1	0		
その他 不動産賃貸費用	4	1	6	4	2		
③NOI(=①-②)	48	30	78	72	5	76	1
④減価償却費	22	12	35	34	0		
⑤賃貸事業利益(=③-④)	25	17	43	37	5		
⑥NOI利回り(対取得価格)	4.7%	5.4%	4.9%	4.5%	0.4%		
⑦資本的支出	0	-	0	0	▲0		

賃貸事業収支(全体)

資本的支出・修繕費・減価償却費・公租公課

第13期はキャナルシティ博多とパークプレイス大分にて大規模リニューアルを実施

■資本的支出・修繕費・減価償却費・公租公課



(注1)メガストア棟2階改装工事に伴う資本的支出金額です。

(単位:百万円(未満切捨))

工事実施期	物件名	目的	工事金額
第13期実績	キャナルシティ博多	テナント区画リニューアル関連工事	193
		共用部リニューアル工事(アメニティ設備改善等)	141
		共用部補修改善工事	49
	パークプレイス大分	テナント区画リニューアル関連工事	132
		環境装飾工事等	21
		共用部補修・更新工事	40
キャナルシティ・ビジネスセンタービル	共用部リニューアル工事(アメニティ設備改善等)	35	
	共用部補修・改善工事	12	
第14期以降予定	キャナルシティ博多	外壁補修工事	44
	キャナルシティ博多・B	外壁補修工事	88
	キャナルシティ・ビジネスセンタービル	駐車場改修	30
		テナント区画リニューアル関連工事	84
	パークプレイス大分	テナント区画リニューアル関連工事	33
		環境装飾工事等	27
		共用部補修・更新工事等	142
	大博通りビジネスセンター	空調設備更新等	205

※保有する不動産について改修工事等に伴う資本的支出の実績・予定額のうち主なものを記載しています。

投資主データ

■投資主カテゴリー別分布状況(投資口割合)



■主要投資主(第13期末)

2011年2月28日現在

順位	投資主	保有投資口数	保有割合
1	福岡地所株式会社	14,105口	13.18%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	13,214口	12.34%
3	野村信託銀行株式会社(投信口)	9,347口	8.73%
4	資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	4,689口	4.38%
5	富士火災海上保険株式会社	4,069口	3.80%
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,310口	3.09%
7	榎本 一彦	3,070口	2.87%
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,585口	2.41%
9	アメリカン・ライフ・インシュアランス・ カンパニージーエイエール	2,500口	2.34%
10	NOMURA BANK (LUXEMBOURG)S.A.	1,961口	1.83%

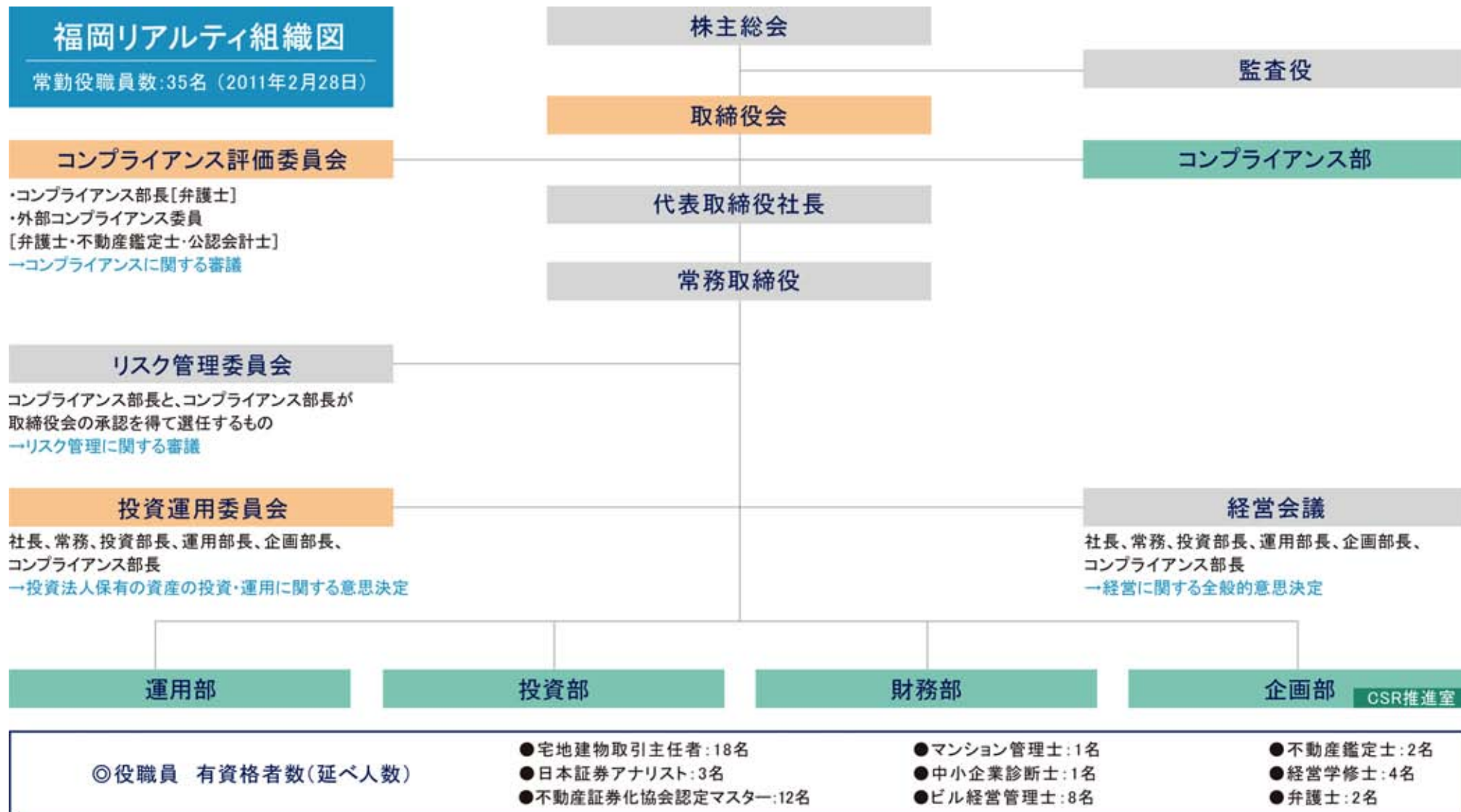
投資口価格推移

■ 投資口価格推移



※各データは各月末日のものを使用しています。

福岡リアルティ(運用会社)体制図



福岡リアルティ CSRへの取組み①

ステークホルダーからの期待・要請に対して積極的にCSR活動を実施

■CSRの主要テーマと具体的な取組み



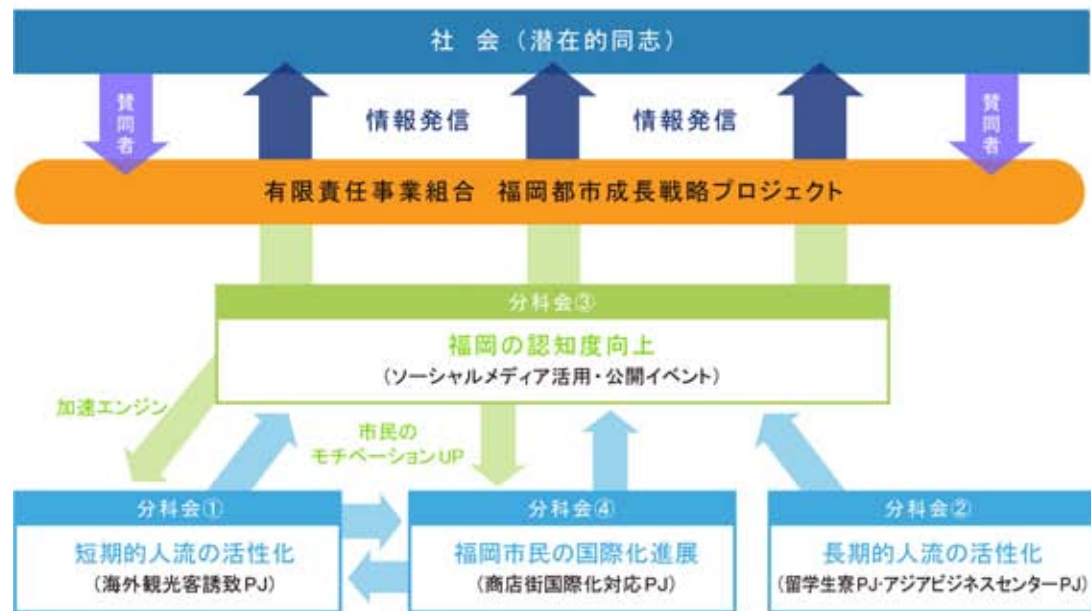
福岡リアルティ CSRへの取り組み② 社会貢献

福岡の都市成長に向けたプロジェクトの推進(福岡都市成長戦略プロジェクト)

■プロジェクト概要

『(国際的な)人流の増大が都市の活性化につながる』ということをテーマに、国際的な人流を活性化させる要素を4つに大別。各分科会にて具体的なプロジェクトを検討の上実施し、その結果を公表していくことで、福岡の都市成長に賛同していただける方々の巻き込みを図る。

◎福岡の都市成長に向けた好循環イメージ



プロジェクトメンバー

星野 裕志 九州大学大学院経済学研究院 教授【プロジェクトリーダー】
 横山 研治 立命館アジア太平洋大学国際経営学部 学部長
 坂口 光一 九州大学大学院工学研究院 教授
 岡田 昌治 九州大学知的財産本部 国際産学官連携センター 特任教授

株式会社福岡リアルティ 参画メンバー

茶木 正安 代表取締役社長
 小原 千尚 投資部長
 神野 英哉 運用部長
 西尾 陽一 常務取締役財務部長
 上田 真也 企画部長
 他

福岡リアルティ CSRへの取組み③ 地球環境

地球環境に配慮した施設運営(キャナルシティ博多)

キャナルシティ博多は環境への取組みを積極的に行っており、過去にエネルギー管理優良事業所として「九州環境産業局賞(2007年)」を受賞した他、「ふくおか減CO2(げんこつ)自慢大作戦2008」において特別賞(エコアクション賞)を受賞。

■カーボンオフセット付緑地メンテナンスの導入



2010年取得

施設の財産であり、また地球環境の財産である「緑」を育てるだけでなく、カーボンオフセット付き緑地メンテナンスを導入。温室効果ガス削減に貢献しています。



緑化への取組み

◎モール部分(壁面緑化)



ヘデラ類を数種植栽した壁面緑化。壁側面に受ける反射熱を軽減します。

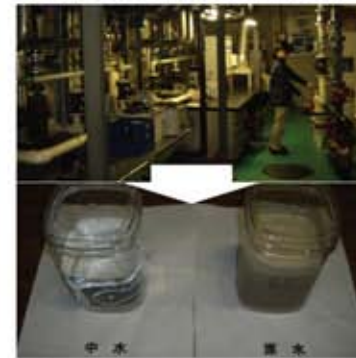
◎ワシントンホテル屋上緑化



緑化資材には出来るだけ、リサイクル品を利用しエコロジーに心がけています。

リサイクルの推進

◎中水プラント(厨房排水の再利用システム)



飲食店で出る厨房排水を中水プラントに集め、館内のトイレの洗浄水として再利用しています。

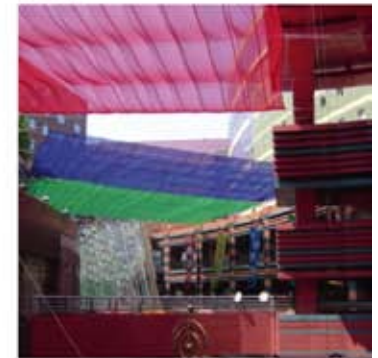
◎ラーメンスタジアム、豚骨ガラの再生利用



ここで収集された豚骨ガラは肥料としてリサイクル。循環型社会の構築に寄与しています。

夏季の暑気対策

◎天幕



夏季期間には、日除け天幕を設置し建物が受ける日射による熱負荷を軽減します。

◎ミスト効果



ミスト発生装置を設置しその水打ち効果で空間の涼を演出しています。

福岡のインフラ整備の状況

2011年3月九州新幹線全線開通、引き続きインフラの整備が続く福岡市



福岡の人口動態

福岡の人口成長率がトップ

4都市圏において、福岡は依然人口成長率トップを維持している。

今後、他都市の人口推計が減少傾向に移行するなか、福岡は2020年頃まで増加ベースを維持することが見込まれている。

国内主要都市圏の人口推移



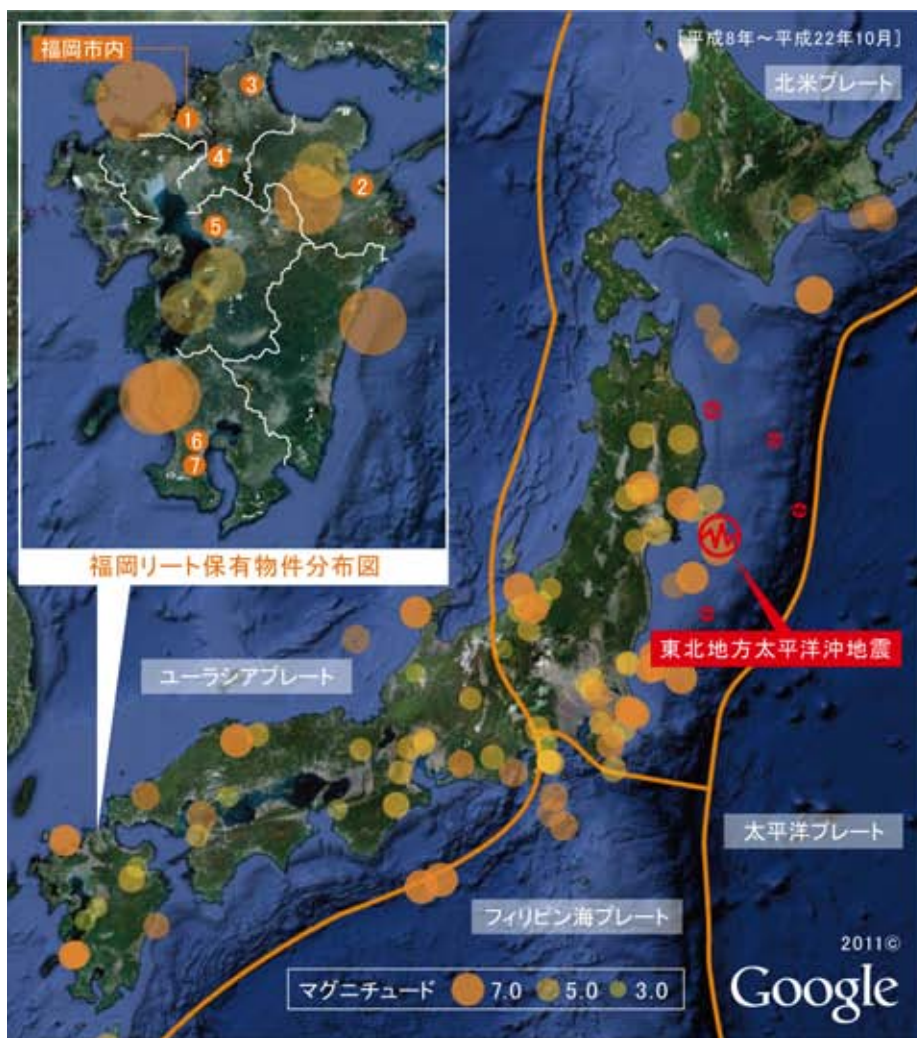
※1985年の全国及び各都市圏の人口を100として指数化し、グラフ化したものです。

1985年福岡都市圏の人口は1,847,232人です。

出典: 1985年～2005年 総務省国勢調査速報値、2010年 総務省国勢調査速報値、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」を基に合同会社福岡アーバンラボラトリーが作成しています。

地震による影響①

■日本付近で発生した主な被害地震



■九州地方で発生した主な被害地震(1996年～2010年10月)

発生年月日	マグニチュード*	震央地名 地震名	人的 被害(人)	物的被害(棟)	最大 震度	津 波
1997年3月26日	6.6	鹿児島県薩摩地方	負37	住宅全壊 4 半壊 34	5弱	—
1997年5月13日	6.4	鹿児島県薩摩地方	負74	住宅全壊 4 半壊 31	6弱	—
2000年6月 8日	5.0	熊本県熊本地方	負 1	住宅一部破損 5など	5弱	—
2005年3月20日	7.0	福岡県西方沖[福岡県北西沖]	死 1	住宅全壊 144棟	6弱	—
2005年6月 3日	4.8	熊本県天草・芦北地方	負 2	なし	5弱	—
2006年6月12日	6.2	大分県西部	負 8	住宅一部破損 5棟	5弱	—
2007年6月 6日	4.9	大分県中部	負 1	水道管漏水 3戸	4	—

※九州地方での津波観測なし
出典:気象庁HP「気象統計情報・被害地震資料」を基に株式会社福岡リアルティにて作成。

- ① キャナルシティ博多
キャナルシティ博多・B
ビジネスセンタービル
呉服町ビジネスセンター
大博通りビジネスセンター
東比恵ビジネスセンター
サニックス博多ビル
アメックス赤坂門タワー
シティハウスけやき通り
イオン原ショッピングセンター
花畑SC
- ② パークプレイス大分
- ③ サンリブシティ小倉
- ④ 久留米東郷原SC
- ⑤ 熊本インターコミュニティSC
- ⑥ スクエアモール鹿児島宇宿
- ⑦ ケーズデンキ鹿児島本店

1996年以降、最も発生規模および被害が大きかったのは「福岡県西方沖地震」。

同地震による本投資法人保有4物件(キャナルシティ博多、キャナルシティ・ビジネスセンタービル、呉服町ビジネスセンター、パークプレイス大分)の被害額(修繕費)は約96百万円で地震被害のランクとしては「軽微」であった。

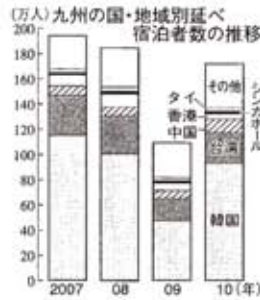
また九州日本海側では、地震発生メカニズム(断層の横ずれ)の違いもあり津波発生も観測されていない。

本投資法人は、全ての保有物件に地震保険を付保。(J-REIT35社中、唯一)全物件ともに新耐震基準で建築基準法上の耐震性能を確保。保守的なPML値も踏まえ保険価額を設定し、地震・噴火・津波による財物損害をカバー。

地震による影響②

■福岡での震災に関する報道

九州運輸局は20日、2010年に九州7県のホテル・旅館など（従業員10人以上）に宿泊した外国人客数を発表した。延べ人数は約17万5千人で、前年より57・7%増えた。韓国入客の回復で増加に転じたが、08年のリーマン・ショック前の水準には戻らなかった。足元では東日本大震災、福島第一原発事故の余波で、外国人客が激減しており、先行きは不透明感が増している。



九州の外国人客57%増

国・地域別では、韓国が前年比96・1%増の約3万9千人、台湾が約2万3千人で、韓国が前年比7月に訪日個人客の発給要件が緩和された中国は同2・8%増の約10万8千人だった。香港などからの客は、福岡発着

震災後キャンセル続く

九州運輸局は20日、東日本大震災後、博多・釜山線が3月末までの予約キャンセルが1万2千件を超えたことを明らかにした。フジテレビ、高松航路線航路事業者を調査した。九州の観光地のホテルでも、外国人客のキャンセルが相次いでいる。同局は「外務省とも連携し、正確な情報を発信したい」としている。

© 2011年3月30日 西日本新聞

復興局面、経済けん引も

資材増産に九州拠点活用

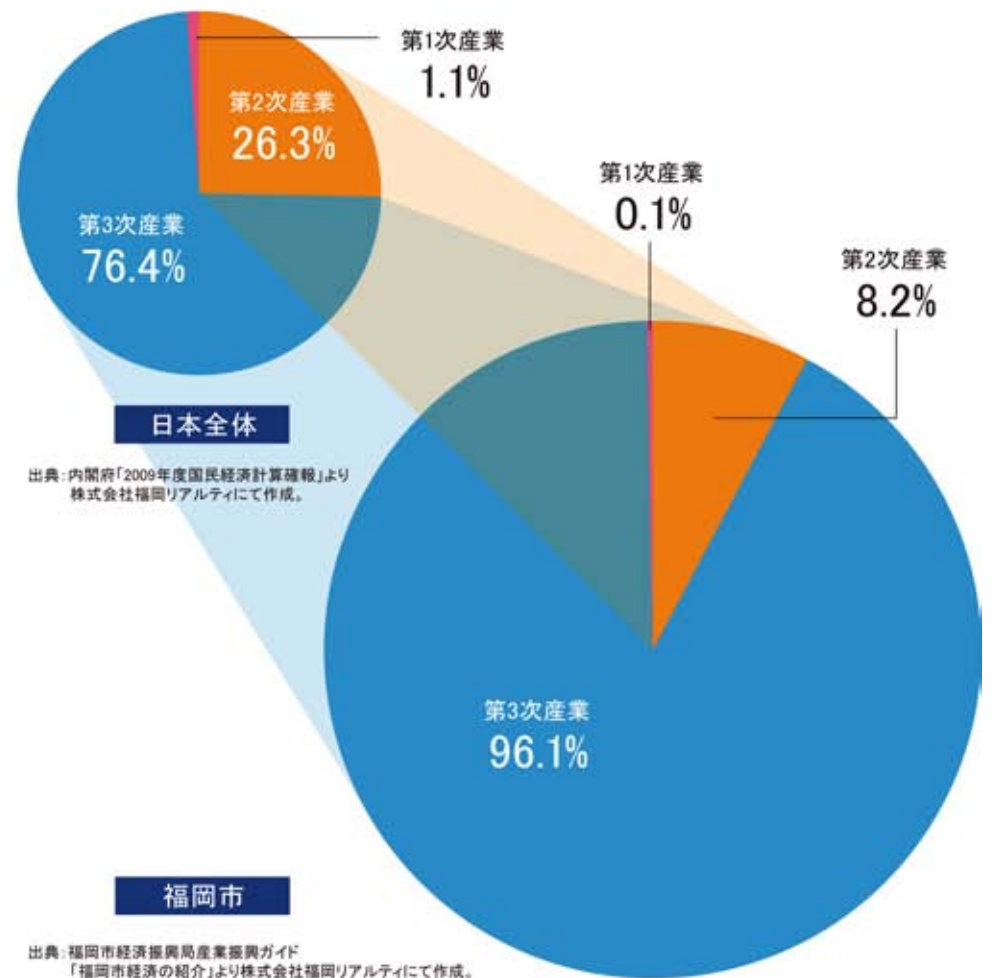
東日本大震災後に部品、材、日産福岡支店の丹市、稼働度が上がり、フル稼働の供給が滞り、稼働を止、芳樹支店長は「海外の需要になる可能性もある」と、九州が復興局面で日産の工場でも出ている。た急が解消されれば急速に、本経済のけん引役になる

© 2011年4月2日 日本経済新聞

可能性を示唆する。企業は復興に必要な資材を増産するため、九州の工場を活用し始めてい。輸出先である米国の自動車販売が停滞のため、部とが業者の救済(同)は九州工場(北九州市)で建築資材用の鋼材の生産を増やしているほか、トステムが有明工場(熊本県長洲市)で住宅用サッシを増産している。ある地域に比べ、(基礎)4・8日に稼働を止め、は「しっかわりしている」日産自動車九州工場(丹波支店長)停電の影響(福岡県朝田町)など、九響で東日本では販売できない地域である米国の自動車部品は「九州で販売できる」と、九州で販売できる。品目の供給体制を整え、自立した業者がなかった九州の工場が大きくなった。九州の工場が大きくなった。九州の工場が大きくなった。

■福岡の産業構造

福岡市の産業構造は第3次産業が圧倒的に高い。



本資料記載事項に関する注意事項



福岡リート投資法人



fukuokareit8968

<http://twitter.com/fukuokareit8968>



FukuokaRealty

<http://www.facebook.com/fukuokarealty>



株式会社 福岡リアルティ

この資料には、将来の業績、計画、または経営目標、戦略などが記述されている箇所があります。これらの将来に関する記述は、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティの現時点での判断に基づくものであるため、福岡リート投資法人の将来の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。従いまして、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティは、この資料及びこの資料に基づく説明をもって福岡リート投資法人の業績を保証するものではありません。また、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティは、信頼できると考えられる情報に基づいてこの資料を作成しておりますが、内容の正確性、妥当性または完全性を保証するものではありません。この資料の記載事項は全て資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

この資料は、皆様に対する情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

投資にかかる最終的決定は投資価値の減少など投資に係るリスクを十分ご認識、ご理解の上、投資家ご自身の判断と責任で行うようお願いいたします。